

一人ひとりにあった生きる力をつけるためのキャリア教育はどうあるべきか
～小・中における授業実践を通して～

I 研究の内容

1 研究方法

- (1) 小・中で授業実践を行う
- (2) 理論研究として学習会を行う。
- (3) 授業（教科を含む）とキャリア諸能力との関連を明らかにし、各校にもちよる。
- (4) 高校入試制度の課題を検証する。

2 研究の具体的内容

(1) 授業実践

①八幡小（小林淳子教諭）第1学年国語科

おはなしをたのしもう ゆうだち

目標 「ゆうだち」を読んで自分の思いや考えをまとめ話すことができる。

【導入】

- 漢字の学習 ○全文を音読 ○本時の課題の確認

【展開】

- 自分の思いや考えをまとめる。

※ 〈自己理解・自己管理能力〉・自分の思いや考えをもつことができる。

〈課題対応能力〉 ・文章の内容と自分の経験を結びつけることができる。

- 自分の思いや考えを話す。

※ 〈キャリアプランニング能力〉・自分の思いや考えを話すことができる。

〈人間関係形成・社会形成能力〉・友だちの思いや考えを聞くことができる。

【まとめ】

- 自分の思いや考えを話すことができたか振り返る。

②勝沼中（辻純二教諭）第2学年英語科

Try to Be the Only One

目標 新垣勉さんとキュリー夫人の人生について読み取ったことを整理して確認することができる。〈人間関係形成・社会形成能力〉

自分の今の生活や今後の生活について自分の考えをまとめて、英文にすることができる。〈自己理解能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力〉

【導入】

- 課題について確認する。

【展開】

- キュリー夫人の人生について新垣勉の人生と比較しながら整理する。
- 自分が興味・関心をもっていること（好きなこと）とこれからどう取り込もうとしているか、などをメモする。
- メモをもとに、今の生活やこれからの生活について英文で表現する。

【まとめ】

- 表現上留意すべき点について確認する。

(2) 実践・資料発表

- 八幡小 国語科（第1学年）「おはなしをたのしもう ゆうだち」
- 塩山北小 体育科（第6学年）「運動会へのとりくみ」
- 山梨南中 職場体験学習（第2学年）
- 山梨北中 職場体験学習（第2学年）
- 笛川中 職場体験学習（第2学年）
- 塩山北中 職場体験学習（第2学年）
- 塩山中 職場体験学習（第2学年）
- 松里中 職場体験学習（第2学年）
- 勝沼中 英語科（第2学年）「Try to Be the Only One」 農業体験学習（第2学年）

II 成果と課題

1 成果

- ・東山で進路教育が復活してから小学校の先生の出席がある。小・中でキャリアの実践ができた。
- ・研究授業で小1の実践を見ることができた。小中の連携ができた。ここから幼・保，小，中，高，大と広げたい。
- ・キャリア教育といえば職場体験が頭に浮かぶが，教科でキャリア発達を促すことは大きな成果だった。
- ・小学校の低学年でおさえおくことがわかった。各学年での発達段階を考えてキャリア発達を促すべき。

2 課題

- ・各校のとりくみを共有し，職場体験や農業講話などの進め方をさらに工夫していく。
- ・「新しい入試制度の検証」「中・高一貫教育」「小・中一貫教育」「小学校からの進路保障」，これらのことを話し合いをして深めたい。

III 研究の成果物

- 小学校1年（国語）学習指導案
- 中学校2年（英語）学習指導案
- 各校実践レポート

（部長 岡村 澄人）